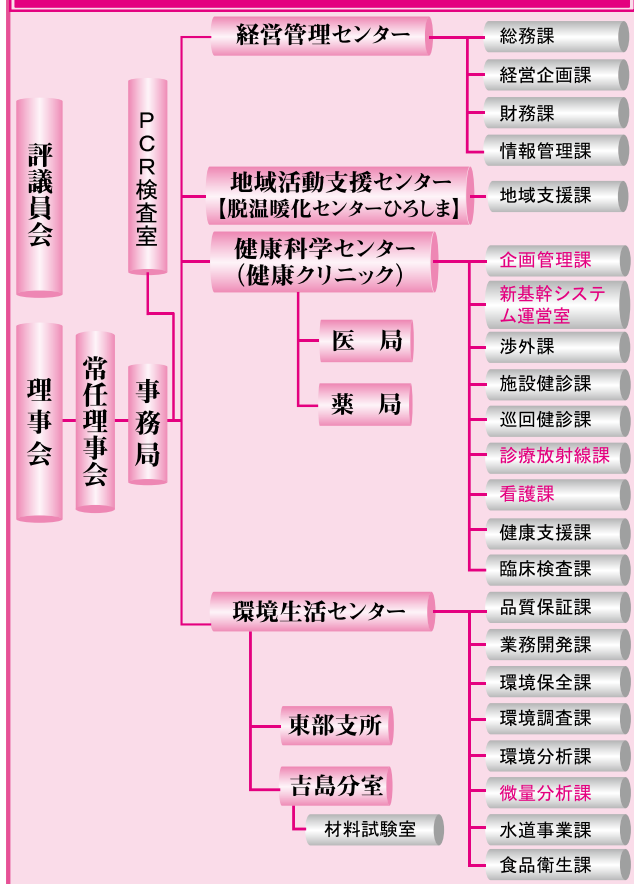


一般財団法人広島県環境保健協会の組織

第1次経営ビジョン最終年度
組織の課題解決、管理力強化

2022年度は、第1次経営ビジョンの最終年度であることから、大きな組織変更は行わないこととしました。

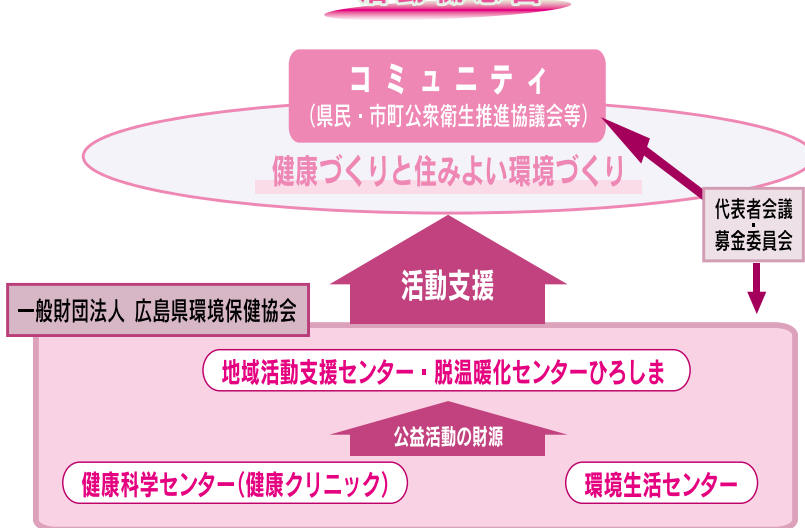
しかし、社会の変化や事業活動の拡大に伴い、管理業務の負荷が懸念され、また、高齢化、年齢構成の偏り、管理職を補佐する職員の不足など、組織の課題が明らかになりました。

そのため、組織管理上の課題解決、効果的・効率的な組織体制構築の観点から、一部見直しを行いました。

2022年度の組織改編の大きなトピックは、次のとおりです。

●**管理力の強化**
センター長を補佐する

活動概念図



皆さまは水質検査のポイントがどこにあるかご存じでしょうか。

まず、飲料水の水質検査は、「採水」、「分析」、「解析」の流れで進められます。

直接口にする水が安全かを確認する検査であるため、機器や技術は高度なものが必要とされますが、どんなに「分析」や「解析」の精度を高めても、「採水」を正しく実施しなければ、正しい検査結果を導き出すことはできません。

飲料水の水質検査では、検査項目ごとに採水する容器の種類や水質変化を防ぐための試薬の添加方法が定められています。

また、公定法において、採水から分析着手までの期限が定められており、これらを遵守する必要があります。



水道水全項目検査では、これだけの数の容器で採水

●**環境生活センター**
26 水道事業課

それに加え、採水場所の選定、滞留水の排出、運搬方法なども「採水」の一環であり、水質を把握するうえで重要な要素といえます。

当協会では、採水を自ら行っているお客様へ「かんほきょう採水講座」を開催し、正しい「採水」を行うための知識を深めていただく機会を設けています。2021年度も

開催し、「水道水質基準およびその検査項目」の説明、採水に用いる容器や採水方法についての講習を行い、その後お客様自身に採水を実習して頂きました。

窓口に来られるお客様に対しても、採水容器の貸出時に職員による採水方法の説明を行うことや採水方法を記載した資料を活用していただくことで、正しい採水を実施できるようにしています。

当協会では、お客様が毎日飲まれている飲料水の安心・安全のため、今後も採水を含めた水質検査の精度の向上に取り組んでまいります。

(水道事業課 花澤崇憲)

るセンター次長の多くが課長を兼務し、センター運営業務に傾注できない状況であることから、兼務を解除し、組織運営に注力できる体制としました。

また、新たに若手を含む6名を課長に任命し、組織の活性化、若返りを図り、将来に向けた体制作りを行いました。

●**効果的・効率的な組織体制の構築**
健康科学センターは、企画調整課、渉外課、事業推進課の3課について、業務の親和性、効率を考慮し、企画管理課と渉外課の2課に統合しました。

医療技術課は、診療放射線課と看護課に分割し、診療放射線技師(経営管理センター)

環境生活センターは、所属職員が多く、業務が多岐にわたる環境分析課について、組織運営、専門性の観点から、環境分析課と微量分析課の2課に分割しました。これにより、管理業務に係る負荷を軽減し、技術力の向上、効率的な組織運営を目指すこととします。

2022年度も、当協会の社会的な使命を果たし、将来にわたって安定した事業運営ができるように、努力を怠りません。

第63回地区衛生組織活動資金募集(環境・健康募金)事業スタート

地域の「環境づくり」「健康づくり」の財源にご理解・ご協力をお願いします

今年度63回目を迎える地区衛生組織活動資金募集(通称:環境・健康募金)は、「私たちの地域は私たちの手で」という思想のもと、地域ぐるみの公衛協活動を行うための活動資金を集めるものです。

昭和35(1960)年2月の広島県公衆衛生大会で、世界保健デー(4月7日)を「健康感謝の日」と定め、毎年募金活動を実施しています。

市町の公衛協が集めた募金は、地区衛生組織活動資金募集委員会で集計し、市町公衛協、環境協、事務費に配分され、公衆衛生活動に役立てられます。

市町公衛協に配分された募金は、「ごみ減量・リサイクル事業」「地域清掃・美化活動」「脱温暖化事業」などの環境づくり事業、「食育」「ウォーキング」「フレイル予防事業」などの健康づくり事業に活用されています。公衛協の活動内容は市町



によって異なりますので、詳細は各市町公衛協事務局にお問い合わせください。

環境協配分金は、全県共通事業重点メニューの活動支援グッズの作成、公衛協のリーダーを養成する「合同研修」の開催、公衆衛生推進手帖の作成、学習教材の貸し出しなどに活用しています。

事務費配分金は、募金事業をスムーズに進めるためのPR用ポスターやチラシ、募金回収袋の作成、振り込み手数料などに充てられます。

みなさまからお預かりした募金は、市町の公衆衛生活動のために使われ、地域の「環境づくり」と「健康づくり」に役立てられます。

公衛協が継続して活動するため、募金の主旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。